

2023（令和5）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

中野区障害者福祉会館指定管理プロポーザルに参加し、第4期の指定を受けた。また、新たに中野区失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の委託も受け、東京都言語聴覚士協会の協力のもと、今年度の目標であったサロン開催と団体への派遣事業を開始した。

会館を利用する高齢の障害のある方たちへの支援として、サークル代表者に送迎時の状況等の情報提供と利用可能な福祉及び介護サービスの提案をした。また、2組のサークル活動グループと区内3事業所が参加し、小規模なお祭りである会館マルシェを会館祭りに代わって開催した。

生活介護事業では、東京都重症心身障害児者通所事業対象者の入所時の流れ・契約書の見直しを、中野区かみさぎこぶし園と共同で行った。また、呼吸管理の必要な利用者を対象として、看護師のバス添乗を開始する為に、看護師がバス添乗のためのガイドラインを作成し、中野区から承認を得た。

自立訓練では、課題である利用率の向上に向け、ホームページの活用や座位エクササイズの出張講座及び職員が関係機関へ出向き、事業説明などを行った。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

① 第4期指定管理プロポーザルに向けた準備

公募前に、法人関係書類などは、前回の提出書類を参考に確認した。

生活介護・自立訓練の事業内容については、各主任と年度初めより検討を始め、書類提出時に再度確認を行った。結果、第4期の指定も受けることができた。

② BCP に添った大震災時の避難訓練の実施

バスの危機管理マニュアル内にある大災害時のバス運行中止について、会館を利用する全ての方に対して、再度の説明と確認を行った。

特に、事業以外の利用者については、各サークルの活動時に、避難経路の確認を一緒に行った。

③ 事業利用以外の会館利用者の高齢化に伴う支援

バス乗車時及び会館利用時に、高齢が原因と考えられる利用者の状態の変化が著しくあった場合、サークル代表者に情報提供と福祉または介護サービスの提案などを行った。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

① 関係機関との連携と利用率向上

新規利用者獲得のため、区内の相談支援事業やケアマネージャーが在籍する地域支援センターへ改めて事業説明する機会を設けた。前年度に紹介のあった事業所からの新規の連絡・相談が増えることに繋がった。またホームページを開設し、地域への情報の発信体制を整えた。

② 障害の多様化に応じた訓練内容の実施

区内の住み慣れた環境でそれぞれの障害特性に応じた行動の幅を広げるために、外でどのような課題に直面するか療法士、利用者自身相談を重ね訓練を実施した。

③ 地域活動支援センター利用者の高齢化に伴うプログラムの充実

利用者の加齢に伴い、参加プログラムの整理を行った。プログラムによっては利用者の減少に伴い、集団プログラムの継続が難しい状況となった。一方で少人数の集団でコミュニケーションは図りやすくなり、外出計画等は個々の意見がより反映してきた。

(3) 生活介護事業

① 福祉機器の有効活用と支援力の向上

東京都重症心身障害（児）者通所事業の開始と同時に、身障トイレ介助用リフトの導入、利用を開始した。また、リフトの操作方法を職員全員がレクチャーを受けることで、利用者それぞれに合った介助方法を提供することができ、安全性と支援の効率化を図り支援力の向上へと繋げることができた。

② 利用者のニーズに合わせた利用日数の提案と状況の整理

今年度に関しては、利用日数の調整となる状況までに至らず、各ニーズに合った通所日数が確保できた。

③ 介護給付費の増額に向けた取り組み

職員会議の場で、介護給付費を学ぶ場を作り、職員皆の意識を高めた。長期欠席者に対して個別支援計画の目標に掲げアプローチをしたことで通所再開へと繋ぐことができた。通所率が上がることで、介護給付費の増額へとつながった。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画0件、更新12件、モニタリング12件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めることによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館
事業所番号	自立訓練（機能訓練） 1 3 1 1 4 0 0 9 0 5 生活介護 1 3 1 1 4 0 0 8 9 7 特定相談 1 3 3 1 4 0 1 5 4 5
所在地	東京都中野区沼袋2丁目40番18号
電話	03 - 3389 - 2171
ファックス	03 - 3389 - 2175
電子メール	na_shoukan@ikuseikai-tky.or.jp

(3) 設立

設立年月日	昭和54年10月1日
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
事業所種別	障害福祉サービス（生活介護事業） 障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練）） 障害福祉サービス（特定相談）

(4) 施設の規模

敷地面積		2,035.425㎡
延床面積	障害者福社会館	2,650.790㎡
	沼袋区民活動センター	1,135.770㎡
	防災備蓄倉庫	188.010㎡
構造	鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 運営							
	常勤			パート・アルバイト	嘱託		
	職種	男性	女性		職種	男性	女性
	施設長		1		生活支援員		
	副施設長				事務員		
	サービス管理責任者				看護師（正・准）		
	支援係長				栄養士（管理含む）		
	主任生活支援員				調理員（役職者含む）		
	事務係長				理学療法士		
	事務主任				作業療法士		
	生活支援員				言語聴覚士		
	事務員		2		管理員	3	1
	看護師（正・准）				小計	3	1
	栄養士（管理含む）				内科医師		
	調理員（役職者含む）				精神科医師		
	理学療法士				理学療法士		
	作業療法士				作業療法士		
	言語聴覚士				言語聴覚士		
	小計	0	3				
	生活支援員				小計	0	0
	事務員				合計	3	4
	看護師（正・准）						
	栄養士（管理含む）						
	調理員（役職者含む）						
	理学療法士						
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	再雇用						
	小計	0	0				

② 自立訓練・地域活動支援センター事業								
	職種	男性	女性		職種	男性	女性	
常勤	施設長		1	パート・アルバイト	生活支援員		2	
	副施設長				事務員			
	サービス管理責任者	1			看護師（正・准）		1	
	支援係長				栄養士（管理含む）			
	主任生活支援員	1			調理員（役職者含む）			
	事務係長				理学療法士	1		
	事務主任				作業療法士		1	
	生活支援員	1	1		言語聴覚士		1	
	事務員		2					
	看護師（正・准）		1		小計	1	5	
	栄養士（管理含む）				嘱託	内科医師	1	
	調理員（役職者含む）					精神科医師		
	理学療法士		1			理学療法士		
	作業療法士		1			作業療法士		
言語聴覚士			言語聴覚士					
			整形外科医師	1				
小計	3	7	小計	2	0			
契約	生活支援員			合計	6	12		
	事務員							
	看護師（正・准）							
	栄養士（管理含む）							
	調理員（役職者含む）							
	理学療法士							
	作業療法士							
	言語聴覚士							
	再雇用							
	小計	0	0					

③ 生活介護事業							
	常勤			パート・アルバイト	嘱託		
	職種	男性	女性		職種	男性	女性
	施設長		1		生活支援員	3	3
	副施設長				事務員		
	サービス管理責任者	1			看護師（正・准）		1
	支援係長				栄養士（管理含む）		
	主任生活支援員	1			調理員（役職者含む）		
	事務係長				理学療法士	1	
	事務主任				作業療法士		2
	生活支援員	3	5		言語聴覚士		
	事務員		2				
	看護師（正・准）	1	1		小計	4	6
	栄養士（管理含む）				内科医師		
	調理員（役職者含む）				精神科医師	1	
	理学療法士				理学療法士		
	作業療法士				作業療法士		
	言語聴覚士				言語聴覚士		
					歯科医師		1
	小計	6	9		医療的ケア 指導医	1	
					小計	2	1
	生活支援員				合計	12	16
	事務員						
	看護師（正・准）						
	栄養士（管理含む）						
	調理員（役職者含む）						
	理学療法士						
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	再雇用						
	小計	0	0				

④ 計画相談支援事業								
	常勤				パート・アルバイト			
	職種	男性	女性		職種	男性	女性	
常勤	施設長		1	パート・アルバイト	生活支援員			
	副施設長				事務員			
	サービス管理責任者				看護師（正・准）			
	支援係長				栄養士（管理含む）			
	主任生活支援員				調理員（役職者含む）			
	事務係長				理学療法士			
	事務主任				作業療法士			
	生活支援員	2			言語聴覚士			
	事務員		2		小計	0	0	
	看護師（正・准）				嘱託	内科医師		
	栄養士（管理含む）					整形外科医師		
	調理員（役職者含む）					理学療法士		
	理学療法士					作業療法士		
	作業療法士					言語聴覚士		
	言語聴覚士							
小計	2	3						
契約	生活支援員			小計	0	0		
	事務員			合計	2	3		
	看護師（正・准）							
	栄養士（管理含む）							
	調理員（役職者含む）							
	理学療法士							
	作業療法士							
	言語聴覚士							
	再雇用							
	小計	0	0					

② 職員人事

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
採用	R5/4/1	作業療法士	パート	■■■■ ■	
採用	R5/6/5	作業療法士	パート	■■■■ ■■■■	
採用	R5/10/1	支援員	パート	■■■■ ■■■■	■■■■■■■■■■
採用	R6/1/1	支援員	パート	■ ■■■■■	

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
退職	R5/10/31	支援員	パート	■■■■ ■■■■	
退職	R6/3/31	支援員	常勤	■■■■ ■■■■■■	
退職	R6/3/31	作業療法士	パート	■■■■ ■	

事由	日付	職名	氏名	備考
異動転出	R6/3/31	支援員	■■■■ ■■■■	■■■■■■■■■■
異動転出	R6/3/31	支援員	■■■■ ■	■■■■■■■■■■
異動転出	R6/3/31	事務員	■■■■ ■■■■■■	■■■■■■■■■■

(6) 利用者状況

① 自立訓練（機能訓練）事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。ただし言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は不可。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9：30～12：00	10名	20名
13：00～15：30	10名	

ウ. 性別・年齢構成（令和5年度内）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	1名	4名	0名	0名	5名
女性	0名	0名	0名	1名	3名	1名	1名	6名
合計	0名	0名	0名	2名	7名	1名	1名	11名

エ. 障害程度（令和5年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	1名	4名	0名	0名	0名	0名	5名
2種	0名	0名	1名	2名	1名	0名	4名
合計	1名	4名	1名	2名	1名	0名	9名

オ. 利用者の利用前の状況（令和4年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	7名	0名	0名	4名	0名	11名

カ. 利用実績

	定員	入所	退所	月末現員	事業日数	利用延数	利用率(%)
4月	20	0	1	8	20	53	13.3
5月	20	1	1	8	20	60	15
6月	20	0	0	7	22	63	14.3
7月	20	0	1	7	20	47	11.8
8月	20	0	1	6	22	45	10.2
9月	20	0	0	5	20	45	11.2
10月	20	1	0	6	21	49	11.7
11月	20	0	0	6	20	55	13.8
12月	20	0	0	6	19	55	14.5
1月	20	1	0	7	19	57	15
2月	20	0	1	6	19	47	12.4
3月	20	0	0	6	20	46	11.5
合計					242	622	

※平均利用率：12.9%

② 地域生活支援事業（地域活動支援センター）

ア. 利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方（難病についても応相談）であり、常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用できる方。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	7名	15名
13:00～15:30	8名	

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	合計
男性	0名	0名	0名	1名	8名	2名	11名
女性	0名	0名	0名	0名	2名	1名	3名
合計	0名	0名	0名	1名	10名	3名	14名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	6名	5名	1名	0名	0名	0名	12名
2種	0名	0名	0名	1名	1名	0名	2名
合計	6名	5名	1名	1名	1名	0名	14名

オ. 利用実績

	定員	入所	退所	月末現員	事業日数	利用延数	利用率(%)
4月	15	0	0	19	20	109	36.3
5月	15	0	0	19	20	102	34
6月	15	0	2	19	22	103	31.2
7月	15	0	0	17	20	101	33.7
8月	15	0	0	17	22	117	35.5
9月	15	1	1	18	20	96	32
10月	15	0	0	17	21	114	36.1
11月	15	0	0	17	20	103	34.3
12月	15	0	0	17	19	92	32.3
1月	15	0	1	17	19	105	36.9
2月	15	0	0	16	19	76	26.7
3月	15	0	1	16	20	83	27.7
合計					242	1201	

※平均利用率：33.1%

③ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。

障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員24名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	2名	4名	3名	2名	3名	14名
女性	0名	7名	1名	1名	1名	10名
合計	2名	11名	4名	3名	4名	24名

*平均 男性 35歳 女性 30.5歳 全体 33.7歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	1名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
2度	13名	1名	0名	0名	0名	0名	14名
無し	0名	8名	0名	0名	0名	0名	8名
合計	14名	10名	0名	0名	0名	0名	24名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	6名	5名	13名	24名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援卒業	区立卒業	他通所施設	入所施設	合計
人数	1名	21名	0名	2名	0名	24名

キ. 保護者状況

状況	両親	父親	母親	兄弟姉妹	叔父叔母	従兄弟	後見人	その他	合計
男性	10名	0名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	14名
女性	8名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	10名
合計	18名	1名	4名	0名	0名	0名	0名	1名	24名

ク. 利用実績

	定員	入所	退所	月末 現員	事業 日数	利用 延数	利用率 (%)
4月	32	0	1	26	19	253	50.9
5月	32	0	1	25	20	311	59.8
6月	32	0	0	25	22	341	62
7月	32	0	0	25	20	278	55.6
8月	32	0	0	25	22	322	58.5
9月	32	0	0	25	20	296	59.2
10月	32	1	0	26	21	328	60
11月	32	0	0	26	20	299	57.5
12月	32	0	0	26	20	315	60.5
1月	32	0	0	26	19	291	58.9
2月	32	0	0	25	19	283	57.4
3月	32	0	1	24	20	267	53.6
合計					242	3584	57.8

※平均利用率： 57.8%

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き）4台

ワゴン車（リフト付き）5台

イ. 運行時間

午前7時25分～午後6時00分

ウ. コース

区内9コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	610 回	2499 名
紫バス	708 回	3691 名
青バス	557 回	4605 名
緑バス	553 回	3984 名
れもんバス	410 回	669 名
りんごバス	643 回	1546 名
いちごバス	477 回	1345 名
すいかバス	616 回	1476 名
やよいバス	482 回	2136 名
合 計	5056 回	21951 名

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前 9 時から午後 10 時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	0 名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00~12:00	2	13:00~17:00	3	18:00~22:00

b. 利用状況

障害者団体

施設	件 数	人 数
多目的室	9 件	45 名
調理室	66 件	1074 名
音楽室	90 件	964 名
スポーツ訓練室	235 件	1413 名
合 計	400 件	3496 名

一般団体

施設	件数	人数
調理室	40件	724名
音楽室	82件	1271名
スポーツ訓練室	2件	11名
合計	124件	2006名

(2) 自立訓練事業(機能訓練)事業

① 入退所状況(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	8	8	7	7	6	5	6	6	6	7	7	6	79
新規	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
終了	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	5

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況(名)

P T : 理学療法 O T : 作業療法 S T : 言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
P T	45	43	51	37	38	38	37	39	38	41	33	35	475
O T	27	24	26	17	21	20	22	26	28	25	24	25	285
S T	3	7	8	7	7	5	10	14	13	10	10	9	103

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着(午前の部) バイタルチェック(血圧・脈拍・体温等)
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労希望状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着 (午後の部) バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労希望状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

(3) 地域活動支援センター

① 入退所状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	19	19	19	17	17	18	17	17	17	17	16	16	209
新規	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
終了	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	5

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延数	109	102	103	101	117	96	114	103	92	105	76	83	1201

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着・バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
10:00	準備体操・活動開始 (それぞれのグループに特色あり) 体操・創作・外出・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着・バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
13:00	準備体操・活動開始 (それぞれのグループに特色あり) 体操・創作・外出・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	3名	散歩、外出、装飾作り等
スロー☆ワーキング	3名	俳句作成、体操、散歩
つながりねっと	2名	スマホやPCを活用、SNSを活用して地域交流
エンジョイセルフ	2名	自主体操、レクリエーション、GWを通して社会生活力の向上
おしゃべり工房	1名	個人制作、レクリエーション等
ミュージック	3名	曲に合わせての楽器演奏、歌唱、発声練習等
S H I P	4名	高次脳機能障害者を対象としたグループ活動 社会生活技術訓練の試行
自主トレーニング	2名	個別プログラムに沿った自主的な運動等
体操	2名	スポーツレク、体操等
自主製作	3名	手芸、外出

(4) その他

① 入浴事業

ア. 利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、ヘルパー等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成・障害程度

a. 機械入浴（現員0名）			b. 介助入浴（現員0名）		
性別	年齢構成	障害程度	性別	年齢構成	障害程度

エ. 利用状況

a. 機械入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b. 介助入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 講座・講習会

ア. 利用対象者（中野区内在住、在勤の方）

イ. 定員（講座・講習会により変動あり）

ウ. 利用状況

a. 講座（定例・入門）

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座（視覚障害）	第1火曜	全4回	31名
編み物講座	第1月曜	全9回	45名
座位エクササイズ講座	第2・4木曜	全20回	174名
書道講座	第2水曜	全11回	35名
レク体操講座	第1金曜	全10回	19名
入門講座	不定期	全4回	25名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部講座の縮小を行った。

※感染症の流行により、中止があった。

b. 講習会。

点字講習	前期後期	全20回	利用人数	165名
------	------	------	------	------

③ 利用者等への相談支援

ア. 福祉サービス利用者に関する相談及び支援

イ. 専門職による相談

ウ. 支援体制の確立

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ア	0	1	2	0	3	1	0	1	0	1	0	2	11
イ	5	0	4	0	1	4	0	2	0	6	3	2	27
ウ	19	16	12	16	3	12	13	11	11	33	22	14	182

(5) 生活介護事業

① 車椅子利用者 13名

② 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	26	25	25	25	25	25	26	26	26	26	25	24	304
入所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
退所	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4

③ 保護者状況（名）

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その 他	合計
男性	10	0	4	0	0	0	0	0	14
女性	8	1	0	0	0	0	0	1	10
合計	18	1	4	0	0	0	0	1	24

④ 利用率（％）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
50.9	59.8	62	55.6	58.5	59.2	60	57.5	60.5	58.9	57.4	53.6	57.8

⑤ 日課・週間プログラム

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バスまたは家族送迎にて通所				
9:50	更衣・水分補給・体調確認・その他				
10:00	ミーティング				
	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	合同活動
12:00	昼食・歯磨き・自由時間				
13:30	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC
14:45	更衣・水分補給・ミーティング				
15:30	送迎バスまたは家族送迎にて帰宅				

⑥ 目的別グループ

グループ	人数	活動内容	
		目的	活動内容
サンサン	12名	健康や体力の維持増進・気分転換を目的としたウォーキング、館内歩行、ストレッチ等。集中力や日中のメリハリを目的とした作業活動。	散歩・作業（クッキー作り、缶回収・つぶし・仕分け並べ、新聞回収、ビーズ作り、紙すき等）・軽運動・足浴・調理・音楽・買い物・お茶会等
ポレポレ	12名	身体機能の維持・発達を目的としたストレッチや感覚活動。集団と個別を意識した創作やレク活動。	理学療法士・作業療法士によるストレッチ・買い物・散歩・音楽・軽運動・足浴・本読み・創作・お弁当購入（ランチ）・こよみ作り等

⑦ 日中活動

	午前		午後		内 容
月	A	資源回収	A	リラックス スヌーズレン	毎日の活動を A・B・C、 3つのチームに分け、サン サングループ、ポレポレ グループ利用者混合で 組み、活動を行った。
	B	創作①	B	散歩（運動）	
	C	創作②	C	創作	
火	A	バス外出	A	足浴	その日の体調に合わせて メンバーを分ける事で、 内容に合った活動に参加 できた。
	B	バス外出	B	足浴	
	C	館内活動	C	散歩（運動）	
水	A	資源回収	A	創作	資源回収では、地域で回 収した缶を洗う・並べ る・仕分ける・潰す等の 工程に分けて取り組ん だ。
	B	散歩	B	創作	
	C	創作	C	散歩	
木	A	バス外出	A	作業	創作活動では、季節に合 った暦作りを行い、地域 の施設に配布した。
	B	バス外出	B	リラックス	
	C	創作	C	散歩	
金	A	合同活動	A	散歩	合同活動ではサンサン グループ・ポレポレグル ープ合同でレクレーショ ン活動（ボッチャ、ボー リング等）を行い、生活 介護事業全体で交流でき る場を作った。
	B		スヌーズレン		
	C		スヌーズレン		

⑧ その他の活動・サービス（全グループ共通）

ア. 利用者の自治会活動（ひまわり会）

ひまわり会の話合いは年間4回、全体で行った。8月のサマーパーティーと年度末の納め会を利用者が主となって企画し、進行の役割を担当した。行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

イ. 調理実習

今年度も引き続きコロナ感染症対策を行いながら、調理実習を行った。初めての試みとなる「ちんすこう」づくりでは、利用者からも好評で、「会館マルシェ」で販売し、完売となった。

2月はバレンタインデー、3月はホワイトデー企画で焼き菓子作りを行い、出来上がった焼き菓子は活動時間に皆で試食し、お土産で各家庭に持ち帰り、ご家族からも好評を頂いた。

ウ．理学療法・作業療法

理学療法士、作業療法士に相談し、利用者のニーズに合わせたストレッチ・訓練や自助具・座位保持等の補装具を製作した。また、車椅子の状態を確認し、家族へ使用時の様子を伝えた。

エ．プール活動

コロナ感染症対策のため、中止した。

オ．音楽活動

コロナ感染症対策を取りながら、活動内容も工夫し実施した。また、音楽活動を行う際に、テンポ良く歌う元気な内容とゆっくりとした活動と、穏やかな音楽を中心とした活動に分け、ニーズに合わせて実施した。

カ．パーソナル外出

コロナ感染者数の増減を踏まえ、実施時期を検討決定し、今年度は近場のお店にて昼食外出を実施した。サンサングループは、カラオケやクリスマスフェスに出かけそれぞれのニーズに合わせて楽しむことができていた。

また、ポレポレグループは、ホテル（光が丘カデンツァ）の宴会場を利用し、医療的ケアの方でも参加できる環境を整え、普段とは違った景色を楽しみながら経管栄養を安全に実施できた。

キ．クラブ活動

家庭菜園、梅干し作りを行うグループと、その様子を写真におさめるグループで実施した。家庭菜園ではバジルやトマト、しし唐を苗から育て収穫した。収穫物は調理実習で活用したり、各ご家庭に持ち帰り楽しんでいただいた。梅干しは、近隣施設の庭から頂いたり、地元の青果店から購入し出来上がった物を持ち帰ったり、お世話になった施設へプレゼントした。また、会館祭りでは自主生産品の販売を行い、梅干しは数量限定で販売したところ、即完売となった。

ケ．身障トイレ内リフト導入

東京都重症心身障害（児）者通所事業の開始とともに、身障トイレ内のリフト導入を行った。リフト利用に向けて、設置業者に使い方のレクチャーを受けたことにより、移乗の際、利用者の快適性と安全性が確保できた。

⑨ 全体行事

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
			利用者	ボラ
6月9日	ぬまりんピック	中野区障害者福祉会館	17名	0名
8月4日	サマーパーティー	中野区障害者福祉会館	15名	0名
12月28日	忘年会	中野区障害者福祉会館	17名	0名

⑩ 家族との連携

家族連絡会	6回	会館マルシェ	1回
給食試食会	2回	個別面談（感染症予防対策のため中止）	0回
グループ懇談会	2回	ぬまりんピック	1回

⑪ タイムケア

17時まで（42回）	91回
18時まで（49回）	

（6）特定相談支援事業

- ① 利用対象者
会館生活介護利用者
- ② 相談窓口の時間、開所日
毎週水曜日 15:30～17:00
- ③ 利用者数
ア. 令和5年度新規計画作成 0件
イ. 更新 12件
ウ. モニタリング 12件

5. 権利擁護

（1）事業所としての取り組み・方針

- ① 法人の理念（統一ミッション・活動規範・虐待防止クレド）に基づき、利用者一人ひとりの人権と意思を尊重した支援を徹底する為、職員は「東京都手をつなぐ育成会虐待防止要綱」「東京都手をつなぐ育成会身体拘束等の適正化のための指針」を遵守し、日常的に自分の支援を振り返る機会を設けた。

② 虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を組織した。朝礼や各事業の会議内で、権利擁護等の意識を全職員が日頃から意識する機会を設けた。

委員会は、奇数月末に開催し各事業から職員が参加した。内容は支援の中で他職員の良かったと思えたことやグレーな支援のことについて話し合った身体拘束については、支援の見直しの機会を設けたが現状維持がほとんどであった。

(2) 虐待防止体制

① 法人本部虐待防止体制

法人	虐待防止責任者	理事長 ■■■ ■■■
	虐待防止マネージャー (相談窓口)	■■■ ■■■
	虐待防止委員会	委員長：■■■ ■■■ (事務局長) ■■■ ■■■ (理事長) ■■■ ■■■ (副理事長) ■■■ ■■■ (副理事長) ■■■ ■■■ (理事) ■■■ ■ (理事) ■■■ ■■■ (弁護士) ■■■ ■■■ (社会福祉士) ■■■ ■■■ (虐待防止マネージャー)

② 虐待防止体制

事業所	虐待防止責任者	■■■ ■■■ (施設長)
	虐待防止マネージャー (相談担当者)	生活介護；■■■ ■■■ (主任支援員) 自立訓練：■■■ ■■■ (主任支援員)
	虐待防止委員会	委員長 ■■■ ■■■ (施設長) 委員 ■■■ ■■■ (主任支援員) ■■■ ■■■ (主任支援員) ■■■ ■■■ (支援員) ■■■ ■■■ (支援員) 外部委員 ■■■ ■■■ (元東京都手をつなぐ育成会施設長)

(3) 身体拘束等適正化体制

身体拘束等適正化責任者	■■■■ (施設長)
身体拘束等適正化委員会	委員長 ■■■■ (施設長) 委員 ■■■■ (主任支援員) ■■■■ (主任支援員) ■■■■ (支援員) ■■■■ (支援員)

(4) 虐待防止・身体拘束等適正化年間実績

① 委員会

5月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り (グレーゾーンについて) ② 今後の予定確認	7名
	身体拘束適正化委員会	昨年度の件数確認。	5名
7月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り ② バス添乗について	7名
	身体拘束適正化委員会	振り返り (変更なし)	5名
9月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り ② 今後のワークについて →委員が他事業を見学振り返り	7名
	身体拘束適正化委員会	振り返り (変更なし)	5名
11月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り ② 全体研修について	7名
	身体拘束適正化委員会	振り返り (変更なし)	5名
1月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り	7名
	身体拘束適正化委員会	全体研修について	5名
3月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り ② 今年度の振り返り ③ 来年度について	5名
	身体拘束適正化委員会	① 全体研修 ② グループワークの振り返り	5名

② 研修等

6月	内部研修(外部講師による研修)	「求められる職員像とチームワーク作り」 講師：■■■■(外部委員)	20名
2月	内部研修(外部講師による研修)	「高齢者福祉についての歴史も絡め、身体拘束についての研修」 講師：■■■■(NPO法人メイアイヘルプユー)	19名

(セルフチェック実施)

実施日時	実施人数/対象人数
9月(自立訓練)	9名/9名
9月(生活介護)	17名/17名
3月(自立訓練)	9名/9名
3月(生活介護)	17名/17名

※(研修に参加できなかった職員は、録画した動画視聴・もしくは参加職員の研修報告書を読みこみ、研修内容を確認し、報告書を提出した。)

③ 事例検討

ア. 虐待防止関連

【事例検討等実績】		
4月	26日	バス会議(運行状況確認)
5月	18日	バス会議(車載カメラについて)
7月	27日	バス会議(職員から障害特性理解研修)
10月	26日	バス会議(各職員バス添乗について)
1月	25日	バス会議振り返り
年間行事	交換研修 6月16日、23日、27日	
【事例検討結果】 車載カメラの導入について個人情報の取扱いには十分に気を付けること バス添乗を行うことで職員から運転手、添乗員へ直接利用者のことを聞く、話すというコミュニケーションをとること。 →添乗員、運転手が障害特性やご本人のルーティーン等を理解し、安全な運航につなげることができた。		

(5) 苦情解決体制

生活介護事業、自立訓練事業で、各利用者や家族の相談を受け、対応した。結果、苦情となる案件は確認されなかった。

事業所	苦情解決責任者	施設長 ■■■ ■■■
	苦情受付担当者	生活介護事業：主任支援員 ■■■ 自立訓練事業：主任支援員 ■■■
	苦情解決第三者委員	民生委員 ■■■ ■■■
法人	苦情解決責任者	理事長 ■■■ ■■■
	苦情受付担当者	■■■ ■■■
	苦情解決第三者委員	■■■■・■■■■ ■■■■・■■■■

(6) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア. 施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ. 個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ. システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して全職員に説明し管理を徹底した。

(7) 障害者差別解消法への対応

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

対応責任者	■■■ ■■■ (施設長)
対応受付窓口	■■■ ■■■ (生活介護事業：主任支援員) ■■■ ■■■ (自立訓練事業：主任支援員)

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年20回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援した。

内科健診	20回	体重測定	毎月
整形外科健診	20回	健康チェック	毎日
精神科相談	0回		

ア. 利用者が安全に通所できるように、通所時毎に利用者の体調を観察、把握した。また、新型コロナウイルスに関する情報を収集し、利用者・職員への注意喚起、手指消毒機器の設置等、施設内の衛生管理や感染症対策を行った。

イ. 体調不良者からの聞き取りを強化し、コロナ感染者へ療養支援、疑いの方は、受診や経過観察のための指導を行った。

ウ. 新規利用者に対して効果的に訓練を実施できるよう、医療機関からの情報を基に令和5年度は4名のアセスメントを実施した。

エ. コロナワクチン接種を希望される利用者から相談を受け、スムーズに接種ができるよう支援した。

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。令和5年度は、東京都重症心身障害児（者）通所事業が開始されたことを受けて医療的ケア対象利用者を主とした医療ケア相談の機会を年間10回に増やし、医療面での体制強化に努めた。また、日常の医療的ケアに関する疑問や確認事項は、主治医とメールや電話連絡にて確認を行った。

内科健診	4回	体重測定	12回
整形外科健診	4回	健康チェック	毎日
精神科健診	4回	定期健康診断	1回
歯科検診	2回	医療的ケア相談・研修	10回

ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。

イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックの実施により疾病等の早期発見に努めた。

ウ．各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。

エ．利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。

オ．利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、施設内の衛生管理を行った。

カ．職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組めるよう調整した。

(2) 関係医療機関・嘱託医

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	主な診療科目
西武沼袋医院	内科・外科・泌尿器科・皮膚科
石坂整形外科	整形外科・理学診療科
銀河クリニック	精神科
神戸歯科医院	歯科
心身障害児総合医療療育センター	指導医による医療的ケアの確認と相談

(3) 感染症予防・対応

① 新任職員入職時や感染症が流行前に医務が中心となって感染予防・対応（吐物処理等）の施設内研修を実施した。

政府、自治体の発表するコロナ対策に合わせ療養機関のフローチャート（マニュアル）の変更を適宜行い、職員へ周知し全体共有を図った。

② 毎日、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。

③ インフルエンザワクチン接種を希望する職員が嘱託医のクリニックで接種できるよう調整を行った。また、感染症が流行した際に拡大防止に努めた。

(4) 理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、食事指導、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。

また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

7. 給食・調理

利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペースト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

(1) 給食会議

月一回定例会議を実施した。献立の確認、行事や季節に合わせたメニューを提案し、利用者へ円滑に給食を提供することができた。

(2) 衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

(3) 委託業者

給食提供業者

会社名：株式会社CTMサプライ

所在地：東京都台東区西浅草3-4-2

電話：03-6457-8282

FAX：03-6457-8283

8. 危機管理

(1) 事故防止・対応

① 自立訓練

月	インシデント報告 (ヒヤリハット) 件数	事故報告 件数	保険申請 (施設賠償保険など) 件数
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	3	0	0
7月	4	0	0
8月	2	0	0
9月	2	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	2	0	0
1月	1	0	0
2月	1	0	0
3月	0	0	0

②生活介護

月	インシデント報告 (ヒヤリハット) 件数	事故報告 件数	保険申請 (施設賠償保険など) 件数
4月	2	0	0
5月	4	0	0
6月	0	0	0
7月	8	0	0
8月	4	0	0
9月	4	0	0
10月	2	1	0
11月	2	0	0
12月	2	0	0
1月	3	0	0
2月	0	0	0
3月	1	1	0

(2) 緊急時対応等

施設・家族と様々な状況を想定して緊急連絡網を整備し、万一の際に備えた。地域の障害をお持ちの方の有事の際の避難経路を区民センター職員、消防署とともに確認を行った。

(3) 情報漏えい対策

日時	研修・訓練名等	人数
4月1日	個人情報について（朝礼にて注意喚起）	23名
4月25日	IP管理について（各事業にて確認）	18名
2月25日	個人情報保護に関するお願い（自立訓練）	8名

漏洩事故件数	0件
--------	----

(4) 障害福祉サービス費請求事務

請求事務に関する事故件数	0件
--------------	----

(5) 特定個人情報（マイナンバー関連書類・データ等）の管理

職名	氏名
管理責任者(法人)	事務局長 ■■■■■ ■■■■
従業員の個人番号取扱責任者	施設長 ■■■ ■■■■
従業員の個人番号取扱担当者	事務員 ■■■ ■■■■■
入所利用者の個人番号取扱担当者	該当なし

漏洩事故件数	0件
--------	----

9. 防災訓練関係

(1) 自衛消防体制

大規模災害に備え、防火管理者を中心に消防計画を作成するとともに、火災や地震による災害の予防対策を行い、区民活動センターと合同の総合防災訓練を2回実施した。自衛消防体制の確認を行った。

(2) 避難訓練

① 運営

会館利用者に対して、避難経路の確認を実施した。

② 自立訓練（機能訓練）事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

③ 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

(3) 大規模地震・災害対応

年間2回の総合防災訓練に加え、備蓄品等の整理や。有事の際、車いす利用者の避難をスムーズに行うため、防災用品の購入をした。

また、二次避難所としての動きを会館内で確認した。

(4) 事業継続計画

大規模地震等の災害対応や感染症への対策など刻々と変化する環境や状況に合わせ、自事業所が事業継続可能であるように事業継続計画の確認と改定を行った。

10. 家族（保護者）との連携

(1) 生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えるとともに前月分の活動の様子を写真で家族に報告した。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 年6回、毎月第3金曜日に家族連絡会を開催し、施設からの連絡・行事や活動報告、家族との意見交換の場とした。
- ④ 中間時・年度末ともに個別支援計画書の作成・見直し・報告は書面でのやり取りに切り替え、利用者・家族の意向を踏まえた計画を作成した。
- ⑤ 例年どおり「ぬまりんピック」を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族の参加は中止とした。
- ⑥ 各チームごとに保護者懇談会を実施し、活動の様子や取り組みについてスライドを用いて紹介し、コミュニケーションをとる場を設けた。また、東京都重症心身障害児（者）通所事業の開始に伴い導入した車いすトイレ内の見学や給食試食会も同日に実施した。

1 1 . 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会館まつりは、規模を縮小し、ボランティアは募集せず、飲食類の販売は行わず、区内障害者団体の販売と催し物をいくつか行うという形で実施した。また、福祉施設に声をかけ、販売の場を提供する機会を作った。
- ② 活動を通して近隣や障害者団体、学校や保育園等と交流を行った。コロナ感染症の感染防止のため、中止していた地域のお祭りへ参加した。自立訓練の利用者も参加し、地域の住民・子供たちとかかわることができた。
- ③ 保育士実習の受け入れを行った。介護等体験実習の受け入れは、コロナ感染症拡大防止を考慮し、受け入れ人数を制限した。また看護実習を開始しました。
- ④ アルモニーは、新型コロナウイルスの感染状況を見て展示を行った。
また、区内の障害者施設からの利用の問い合わせも増えたため、貸出し展示会を行った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

- ① 障害者相談支援事業所との情報交換と連携を強化した。
- ② 自立支援協議会の各部会へ参加した。
 - ア. 施設系事業者連絡会
 - イ. 相談支援部会
 - ウ. 差別解消部会
- ③ 中野区高次脳機能障害支援者連絡会へ参加した。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

- ① 自立訓練
 - ア. 実習・体験・見学等

介護等体験	2名	短大インターンシップ	4名
社会福祉士相談援助実習	0名	看護実習	11名

イ. ボランティア

日常（作業・活動・企画等）	1名
---------------	----

② 生活介護

ア. 利用者実習

特別支援学校	3回
--------	----

イ. 実習・体験・見学等

介護等体験	2名	保育実習	2名
看護実習	11名	特別支援学校保護者施設 見学	6名

ウ. ボランティア

行事（会館まつり・外出・宿泊旅行・プール等）	0名
------------------------	----

12. 会議・委員会

（1）法人関係

施設長会議（参集）	11回	主任係長会 （オンライン会議9回） 参集会議1回）	9回
事務連絡 （オンライン会議）	3回	看護師連絡会 （オンライン会議）	2回

（2）施設関係

運営会議	3回	医務会議	12回
運営協議会	1回	会館まつり全体会議	2回
虐待防止委員会	6回	会館まつり担当者会議 （丸山塚まつり不参加の為）	3回
人事考課者会議	2回	防災担当者会議	2回
給食会議	12回	全体職員会議	1回
バス運行会議	6回		

（3）区関係

自立支援協議会 全大会	1回	入所情報連絡会	1回
相談支援部会	4回	施設系事業者連絡会	6回
差別解消部会	4回		

(4) サービス事業別会議

① 自立訓練（機能訓練）

職員会議	12回	支援員会議	9回
------	-----	-------	----

② 生活介護

職員会議	12回	個別支援計画全体会議	10回
グループ会議	24回	家族連絡会	6回
リーダー会議	12回	ケース会議	12回

13. 研修計画・大会参加

(1) 研修実績 会館運営

① 育成会関係

8月8日 9月26日	インボイス研修	1名
11月21日	事務担当者研修会	2名
1月27日, 28日	第8回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会愛媛大会	1名

② 中野区関係

実績なし

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
10月17日	請求事務フォローアップ研修	ウチダエスコ株式会社（参集）	1名
1月26日	給付費請求事務研修	知的発達部会利用者支援研究会（参集）	1名

④ 他施設職員研修

8月25日	貫井福祉園・貫井福祉工房	他施設見学	1名
-------	--------------	-------	----

⑤ 施設内研修

実績なし

(2) 研修実績 自立訓練

① 育成会関係

9月26日	Lean on me 研修計画作成研修	1名
10月13日	キャリアⅡ研修	2名
10月26日	ABA（応用行動分析）研修	1名
11月18日	関東・甲信越大会 栃木大会	1名
11月21日	論理構成力研修	1名
11月28日		1名

② 中野区関係

9月15日	区内施設間交換研修（GH体験）	1名
11月28日	職員のモチベーションUP&生産性向上 今注目の“心理的安全性”（中野区役所）	1名
12月5日	“障がい者虐待防止”（中野区役所）	1名
1月15日	「ファミリーサポート」（専門職として求められる家庭への支援）（中野区中部すこやか内）	1名
2月7日	人生のツアーガイド～成年後見制度～（中野区産業振興センター）	1名
3月4日	「障がい者が65歳になったら」～障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行～（中野区中部すこやか内）	1名
3月12日	令和6年度障害福祉サービス等報酬改定と最新の国の動向（中野区中部すこやか内）	1名

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
8月25日	虐待防止・権利擁護研修	公益財団法人 東京都福祉保健財団 (web)	1名
9月5日	障害者デジタル技術研修	東京都障害者 IT 地域センター (参集)	1名
9月21日	失語症の臨床現場での長期経過・言語機能の変遷と失語症者への寄り添い方	東京都高次脳機能障害支援普及事業(web)	1名
10月17日	請求事務フォローアップ研修	ウチダエスコ株式会社 (参集)	1名
10月18日	自衛消防研修会	野方消防署 (参集)	1名
11月24日	高次脳機能障害講演会	東京慈恵会医科大学付属病院 (参集)	1名
1月26日	給付費請求事務研修	知的発達部会利用者支援研究会 (参集)	1名
1月24日 25日 26日	サービス管理責任者実践研修	公益財団法人 東京都福祉保健財団 (参集)	1名

④ 他施設職員研修

実績なし

⑤ 施設内研修

5月15日 19日	虐待防止研修	他事業を見てみよう。(生活介護)	1名
11月2日	応用行動分析学研修	応用行動分析とは?	1名

(3) 研修実績 生活介護

① 育成会関係

4月 20.22.28日	新任研修 (WEB)		2名
6月13日	新人人事考課研修		2名
7月14日	東京都育成会大会		2名
9月15日	東京都育成会精神障害計画相談支援従事者等養成研修事業		1名

② 中野区関係

5月26日	相談支専門員検討・交流会	1名
1月11日	自立支援協議会4部会合同セミナー「障害者権利条約～我が国の総合所見を受けて～」	1名
3月4日	障害者が65歳になったら～障害福祉サービスから介護保険サービスの移行	1名

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
6月13日	意思決定支援から考える障害者の権利擁護～障害者の権利に関する条約に対する国連の総括初見を踏まえて私たちができる事	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1名
8月14日～ 9月8日	第140回摂食嚥下指導基礎実習講習会	心身障害児総合医療療育センター (動画視聴)	1名
8月14日	ダウン症支援セミナー「青年期・成人期・高齢期を考える」	公益財団法人日本ダウン症協会 (動画視聴)	1名
9月6日～ 9月14日 9月15日	令和5年度精神障害計画相談支援従事者養成研修	一般社団法人 東京精神保健福祉士協会 (動画視聴・web)	1名
9月1日～ 9月4日 9月15日～ 9月15日 9月29日	令和5年度東京都サービス管理責任者更新研修	公益財団法人 総合保険推進財団 関東支部	1名
10月30日	Special Learning 研修活用セミナー!	Lean on me (web)	1名
11月22日	医療的ケア児等受け入れ促進研修	東京都福祉局障害者施策推進部	1名
1月15日	豊かな地域生活を送るための個別支援計画作成について	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1名
3月12日	障害福祉サービス等報酬改定と最新の国の動向	株式会社ミッキーNEXT	1名

④ 他施設職員研修

実施日	研修先	人数
7月3日	Leaves 練馬高野台	1名
10月13日	江古田の森	1名

⑤ 施設内研修

6月13日	意思決定支援	意思決定支援から考える障害者の権利擁護～障害者の権利に関する条約に対する国連の総括初見を踏まえて私たちができる事	14名
9月4日	ダウン症	ダウン症支援セミナー「青年期・成人期・高齢期を考える」	13名
10月20日	応用行動分析	障害福祉の支援に役立つ応用行動分析	6名
12月21日	医療的ケア	医療的ケア児等受け入れ促進研修	12名
12月6日	トイレ介助	アテントオムツを効果的にお使いいただくために～適切なオムツの使い方～	14名
1月25日	医療的ケア	第81回重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会	10名
2月9日	身体拘束	身体拘束研修	14名

（４）人材育成

リーオンミーを活用する中で、各事業で常勤、パート職員関わらず虐待防止に関する動画を視聴し、内容を共有した。

（５）大会参加

育成会大会

10月6日	大研修会	1名
11月18日	第57回関東・甲信越大会 栃木大会	1名
1月27日28日	第8回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会愛媛大会	1名

14. 労務管理

（１）職員健康管理

	実施期間	実施人数
定期健康診断	令和5年11月～令和6年3月	12名
特定業務従事者健康診断	該当なし	

(2) 衛生推進体制

衛生委員会および衛生推進委員会 取組結果

- ① 労働者の危険又は、健康被害の防止をするための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。
- ③ 健康診断の実施その他健康診断の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因調査及び再発防止に関すること。

月	取組	内容	人数
4月	①④	感染症対策について	17名
	①②	職員の腰痛予防対策（身障リフトの導入）	17名
5月	①②	コロナ感染症V類に変更に伴う対応について	17名
6月	②	労働環境整備（特別休暇付与について）	25名
7月	①②	体調管理について	25名
1月	②③	感染症の経過及び体調管理について	17名
	③	嘱託医への健康相談	1名
2月	③	嘱託医への健康相談	1名

(3) ワーク・ライフ・バランスの推進

時間外勤務・休日出勤	時間数	前年度比
(今年度事業所総時間外勤務時間数＋休日出勤時間数)	=509.3	101.5%
(前年度事業所総時間外勤務時間数＋休日出勤時間数)	=502	
年次有給取得率 前年度比	日数	前年度比
(今年度事業所総有給取得日数)	=487.4	109.1%
(前年度事業所総有給取得日数)	=446.5	

(4) セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント及びその他のハラスメントの防止

役割	氏名
ハラスメント法人対応責任者	事務局長 ■■■■ ■■■■
ハラスメント法人相談窓口	■■■■ ■■■■
ハラスメント事業所相談窓口（自立訓練）	■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■
ハラスメント事業所相談窓口（生活介護）	■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■
相談実績	0

(5) メンタルヘルス・ストレスチェック制度

① メンタルヘルス

法人外相談窓口	東京メンタルヘルス株式会社	メンタルサポートネット
法人内相談窓口	職員悩みごと相談窓口	担当 ■■■■

② ストレスチェック制度

職務名	氏名
ストレスチェック制度担当者	法人事務局長 ■■■■■■
ストレスチェック制度実施者	株式会社 HL&E
ストレスチェック実施事務担当者	法人事務局人事労務部門所属職員のみ
面接指導担当医師	株式会社 HL&E 精神科医
実施日程	2023(R6)/3/5～2023(R6)/3/22

(4) 次世代育成支援

行動計画に基づく取組結果

取組	実施件数・人数
子供参観日	10月21日 : 1人 10月28日 : 4人
職場体験等受け入れ	1件(11月20日～11月22日) : 2人

15. 指導・監査・調査等

(1) 福祉サービス第三者評価

中野区が指定管理施設に対して、その指定期間中に実施する。今年度は対象年度ではなかった。

(2) 満足度調査

① 自立訓練事業 地域活動支援センター事業

おおむね満足の回答であった。一方でいくつかの質問では「やや不満、不満」の回答があり、自立訓練事業として課題であると受け止めます。特に、「地域との交流(ボランティア受け入れなど)」についての質問項目では、「行われていない」との回答が見受けられました。今後、訓練の内容等の検討及び改善を図り、地域とのつながりの充実を図っていく。

また自由記述では、「時間に制限があるため、有意義に使用したい。」とあった。当施設の利用時間があるため、職員からも利用者一人一人に合わせた訓練を提供して、時間内に充実した訓練に取り組めるよう実施した。

ア. 自立訓練

現員：6 配布数：6 回答者数：5 回収率83.3%

イ. 地域活動支援センター

現員：15 配布数：15 回答者数：13 回収率：86.6%

② 生活介護事業

令和5年度の満足度調査集計結果は、おおむね「満足」の回答をいただいている。ただ、職員の対応で、「やや遅い」とご回答をされた方もいたので、真摯に受け止め今後につなげ、支援や対応の質を低下させないようにしていきたい。

また、自由回答では、家庭ではできない、機能低下を防ぐための訓練や支援をととてもよくやってくださっている、安全で楽しく日々過ごせている、といったような意見をいただいている。

現員：24名 配布数：25名 回収者数16名 回収率：72%

(3) 中野区労働環境モニタリング

指定管理中に1回の実施予定。今年度の実施はなし。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）

(3) 第3期

平成31年4月1日から令和6年3月31日（5年間）

(4) 第4期

令和6年度4月1日から令和11年3月31日（5年間）